

短大協発第30149号

平成30年9月10日

会員短期大学

理事長・学長 殿

事務局 長 殿

教 職 員 殿

学生支援担当者 殿

日本私立短期大学協会

会 長 関 口

学 生 生 活 委 員 会

委員長 奥 明 子



平成30年度「私立短期大学学生生活指導担当者研修会」開催について（通知）

標記研修会を別紙実施要領の通り、名古屋市にて開催いたします。

学務ご多忙の折柄とは存じますが、貴学の教職員、学生支援関係教職員の方々の多数ご参加を賜りたくご通知申し上げます。

◎ 同封書類

- ・平成30年度「私立短期大学学生生活指導担当者研修会」実施要領

※ 本研修会は、電子媒体及びEメールを用いてお申込みいただいております。

本協会ホームページ内から申込書ファイル (MS-Excel 形式) をダウンロードし、必要事項をパソコン入力のうえ、本協会宛にEメールにて申込書ファイルを添付して、お申込みください。

参加申込締め切り期日 10月1日(月)〔必着〕

平成30年度「私立短期大学学生生活指導担当者研修会」実施要領

主催 一般財団法人私学研修福祉会

協力 日本私立短期大学協会

主題・目的

充実した短期大学生生活の実現に向けて

平成28年4月の「障害者差別解消法」の施行により、各短期大学では支援を必要とする学生への組織的な取り組みを推進するために模索を続けています。今後ますます学生支援を受けながら短大生活を送ることを希望する学生が入学してくると思われます。そのような多様な学生の状況に対応するために、昨年に引き続き、より合理的な配慮の在り方や支援体制の整備等への理解を深めたいと思います。

また、2年または3年間の短期大学生生活において、正課授業や資格取得はもちろんのこと、専攻など異なる分野の人とつながることのできる課外活動を通して、学生が自主性や協調性、リーダーシップを培っていけるようにすることも教育の使命です。しかし今年、スポーツ競技の試合において、とても残念な事件が起き、メディアで連日大きく取り上げられ、本来の課外活動の意義や在り方など、教育機関としてのあるべき姿について、改めて考えさせられる機会となりました。そこで、今回の研修会では、危機管理の観点から、リスク管理やメディア対応について考える講演や、課外活動を活性化させる具体的な取り組みについて事例報告を行うこととしました。

近年の大学改革により、各短期大学では学生の様々なニーズに対応するため、学生を支援するための組織および施設を充実させる取り組みが積極的に進められています。その一つとして、職員の意識改革や能力向上のためにSD研修があります。中部地区の大学・短期大学で実施しているSD研修活動の事例報告は、学生一人ひとりが短期大学に進学して良かったと思えるように、きめ細かな学生支援を実現していくための取り組みであり、今後の職務遂行に大変役立つものと考えています。

全体研修や分科会研修を通して、各短期大学で抱えている問題の解決や新たな支援方策など、少しでもその一助となることを切に願っております。

実施要領

- 開催期日 平成30年11月20日(火)～22日(木)の3日間
但し、11月20日(火)は、短大見学会(希望者のみ)
- 研修会場 名古屋市「名古屋ガーデンパレス」(11月21日・22日の2日間)
〒460-0003 名古屋市中区錦3丁目11-13 <後掲案内図参照>
電話 052-957-1022(代表)
- 短大見学会場 (1) 名古屋女子大学短期大学部
愛知県名古屋市瑞穂区汐路地3-40 電話 052-852-1111
(2) 名古屋短期大学
愛知県豊明市栄町武侍48 電話 056-297-1306
(3) 名古屋文化短期大学
愛知県名古屋市東区葵一丁目17-8 電話 052-931-7112
- 参加資格 私立短期大学の理事長・学長 および 教職員の方々 並びに
学生支援関係の教職員の方々。
- 参加経費 全日程で1人 34,200円(参加費、情報交換会費、昼食代を含む)
- 宿 泊 本研修会参加に伴う宿泊については、各自お手配ください。なお、研修会場の「名古屋ガーデンパレス」に宿泊を希望される場合は、来る10月1日(月)までに直接ホテルに電話(052-957-1022)にて、「私立短期大学学生生活指導担当者研修会に参加」と申し添えてお申込みください。
- | | | |
|---------|-------------|-------------|
| | 〈1泊素泊まりプラン〉 | 〈1泊朝食付きプラン〉 |
| シングルルーム | ¥ 8,000 | ¥ 9,000 |
- ※上記料金は本研修会参加者を対象とした特別料金で、お一人様・税・サービス料込みの金額です。宿泊室数に限りがありますので、ご希望の際にはお早めにお申込みください。
- その他 (1) 研修会の受付は、11月21日(水)の9時40分より、研修会場の「名古屋ガーデンパレス」3階「栄」前のロビーにて行います。
(2) 分科会研修では、2日間にわたって希望したテーマを中心としたテーマ別グループ討議を行います。後掲の3つのテーマの中から情報共有または意見交換したいテーマを一つ選び、参加申込書にてお知らせください。
なお、運営委員会にてグループ分けを行いますので、ご了承ください。

(3) 分科会研修を有意義なものにするため、情報交換したいこと、対応に苦慮していることなどを、参加申込書の「アンケート・連絡事項」の欄へ具体的な内容をお知らせください。

(4) 分科会研修の際の参考資料として、貴学の学生便覧、学生生活の手引き、ハンドブック、諸規程類、学生新聞などの印刷物で、閲覧可能な資料がありましたら当日に一部ご持参ください。

(5) 11月21日(水)の18時より「情報交換ネットワークの会」を行います。各自、名刺をたくさんお持ちください。

運営委員(指導員)

奥 明 子	貞静学園短期大学 理事長・学長	〈委員長〉
谷 村 勇 一	武庫川女子大学短期大学部 学生部学生課学生サポート室 スポーツセンターアドミニストレーター課長	〈副委員長〉
小野瀬 剛 志	仙台青葉学院短期大学 教授	
末 崎 徹	聖徳大学短期大学部 学生部次長(学生支援担当)・保健センター課長・学生支援課長	
岩 井 幸 博	貞静学園短期大学 講師	
鈴 木 俊 昭	戸板女子短期大学 学生部長	
宮 本 朱	文化学園大学短期大学部 学生部副部長 兼 学生課長	
野 中 弘 敏	山梨学院短期大学 保育専攻科長・教授	
寺 田 豊	園田学園女子大学短期大学部 学生支援部学生課長	

(順不同・敬称略)

研修内容

11月21日(水)

- 開会挨拶 日本私立短期大学協会 学生生活委員会委員長
貞静学園短期大学 理事長・学長

奥 明 子

■講演 I

特別な教育的ニーズのある学生に対する理解と支援
—発達障害やグレーゾーンの学生に焦点をあてて—

日本福祉大学 社会福祉学部社会福祉学科 教授 柏 倉 秀 克 氏

大学等に在籍する障害学生は昨年度3万人(全学生の約1%)の大台を超えました。障害別にみると発達障害等の伸びが顕著です。障害学生支援の取り組みは規模が大きい大学ほど進んでおり、小規模になるほど専門スタッフや専門部署の整備が遅れています。一方で障害学生の在籍率は小規模ほど高まる傾向があり、短期大学等の取り組みが急がれます。本研修では短期大学に多く在籍する発達障害やグレーゾーンにある学生を取り上げ、支援の方策について検討します。

講師紹介

現 日本福祉大学教授 同学生支援センター長
現 日本高等教育障害学生支援協議会(理事)
現 日本学生支援機構障害学生支援委員
現 愛知県障害者差別調整委員会(委員長)
2015年 文部科学省障害者差別解消法対応指針策定にかかる検討会(副座長)
2016年 文部科学省障害のある学生の修学支援に関する検討会(委員)

■事例報告

I. 貞静学園短期大学における学生ボランティア活動支援の取り組みについて
—障害者スポーツボランティアを中心に—

貞静学園短期大学 保育学科 講師

岩 井 幸 博 氏

II. 教職協働を支える事務職員を目指して

岐阜聖徳学園大学/大学院

岐阜聖徳学園大学短期大学部 事務局長

竹 本 浩 之 氏

■分科会研修

〈テーマ〉

- 1) 大学における危機管理（防災、SNS、ハラスメント等）
- 2) 学生支援（障害者支援、学生相談、経済支援等）
- 3) 学生指導（マナー教育、課外活動、ボランティア活動等）

*テーマ別グループ討議を行います。

■情報交換ネットワークの会

11月22日(木)

■分科会研修（前日の続き）

■講演Ⅱ

記者から見たメディア対応について

株式会社読売新聞中部支社 編集センター幹事・社会担当部長

谷 口 透 氏

自らの記者活動に加え、地方支局や本社のデスク、支局長などの業務を通じて長年、記者教育に携わった経験を踏まえ、リスク管理やメディア対応について考えます。

記者会見や取材の現場で、記者たちがどのような視点で、どんな質問をするのか。この研修会では、記者会見の動画も使い、実例をもとにお話したい。そうすることによって、参加者の皆さんが大学の対応について考える材料を提供できれば、と思います。

講師紹介

1987年 4月 読売新聞東京本社入社北海道支社編集部に配属。
報道課（札幌）、稚内通信部などで勤務
1991年 5月 地方部
1991年 11月 社会部警視庁クラブ、災害取材などを担当
1998年 11月 西部本社社会部（福岡）
2000年 3月 東京本社社会部
2002年 10月 さいたま支局次席、山形支局次席など
2008年 6月 地方部次長
2010年 11月 青森支局長
2012年 6月 地方部次長
2013年 4月 記者教育実行委員会事務局長
2015年 12月 横浜支局長
2017年 6月 航空部長
2018年 6月 中部支社編集センター幹事

■閉会挨拶

日本私立短期大学協会 学生生活委員会副委員長

武庫川女子大学短期大学部 学生部学生課学生サポート室

スポーツセンターアドミニストレーター課長

谷 村 勇 一

日 程

第1日・11月20日(火)

第2日・11月21日(水)

第3日・11月22日(木)

※希望者のみ

14:00

短大見学会

見学先

- ・名古屋女子大学短期大学部
- ・名古屋短期大学
- ・名古屋文化短期大学

16:00

<現地集合・現地解散>

9:40	受付	
10:10	開会挨拶	
10:30	オリエンテーション	
	講演Ⅰ	
12:30		120分
	昼食・休憩	
13:30	事例報告Ⅰ	
14:15		45分
14:25	休憩	
15:10	事例報告Ⅱ	45分
15:30	会場移動・休憩	
	分科会研修	
17:30		120分
	会場移動・休憩	
18:00	情報交換 ネットワークの会 (立食形式)	
19:30		90分

9:00	分科会研修	
12:00		180分
	昼食・休憩	
13:00	講演Ⅱ	
14:50		110分
15:00	閉会挨拶	

短大見学会（希望者のみを対象）

■ 開催日程

平成30年11月20日（火）

14時～16時（現地集合・現地解散）

■ 見学先短大（一短大を選択）

（1）名古屋女子大学短期大学部

愛知県名古屋市瑞穂区汐路地3-40 電話 052-852-1111

（2）名古屋短期大学

愛知県豊明市栄町武侍48

電話 056-297-1306

（3）名古屋文化短期大学

愛知県名古屋市東区葵一丁目17-8 電話 052-931-7112

- 上記の短期大学のいずれかに見学を希望される場合は、次頁のそれぞれの短期大学の所在地を確認のうえ、14時までに各集合場所にお集まりください。
なお、希望する見学先は参加申込書にてお知らせください。

*見学先短期大学のより詳細な情報は、各短期大学のホームページをご覧ください。

■名古屋女子大学短期大学部

本学園は、大正4（1915）年に創立され、現在は大学院・大学・短期大学・高等学校・中学校・幼稚園を擁する女子総合学園となりました。

学園の建学の精神は、創立以来の「学園の信条である『親切』を根幹として、個々の人格を陶冶し、かつ高い教養を身に纏った、よき家庭人であり力強い職能人としての女性を育成する」ことにあります。

学生が快適な学生生活を送れるように、学生支援センターが中心となり、学生生活にかかわるあらゆる問題に対応できるよう支援体制を整えています。



名古屋女子大学短期大学部（担当：学生支援センター 羽場隆雄 氏）

住 所 愛知県名古屋市瑞穂区汐路町3丁目40番地

電 話 052-852-1111（代表）

交 通 「名古屋」駅から「名古屋市営地下鉄桜通線」（徳重行）に乗車
「瑞穂区役所」駅にて下車（所要時間19分）
2番出口東300m

※集合場所へは、2番出口から.....をお進みください。

集合場所 南4号館 2階会議室（予定）

■名古屋短期大学

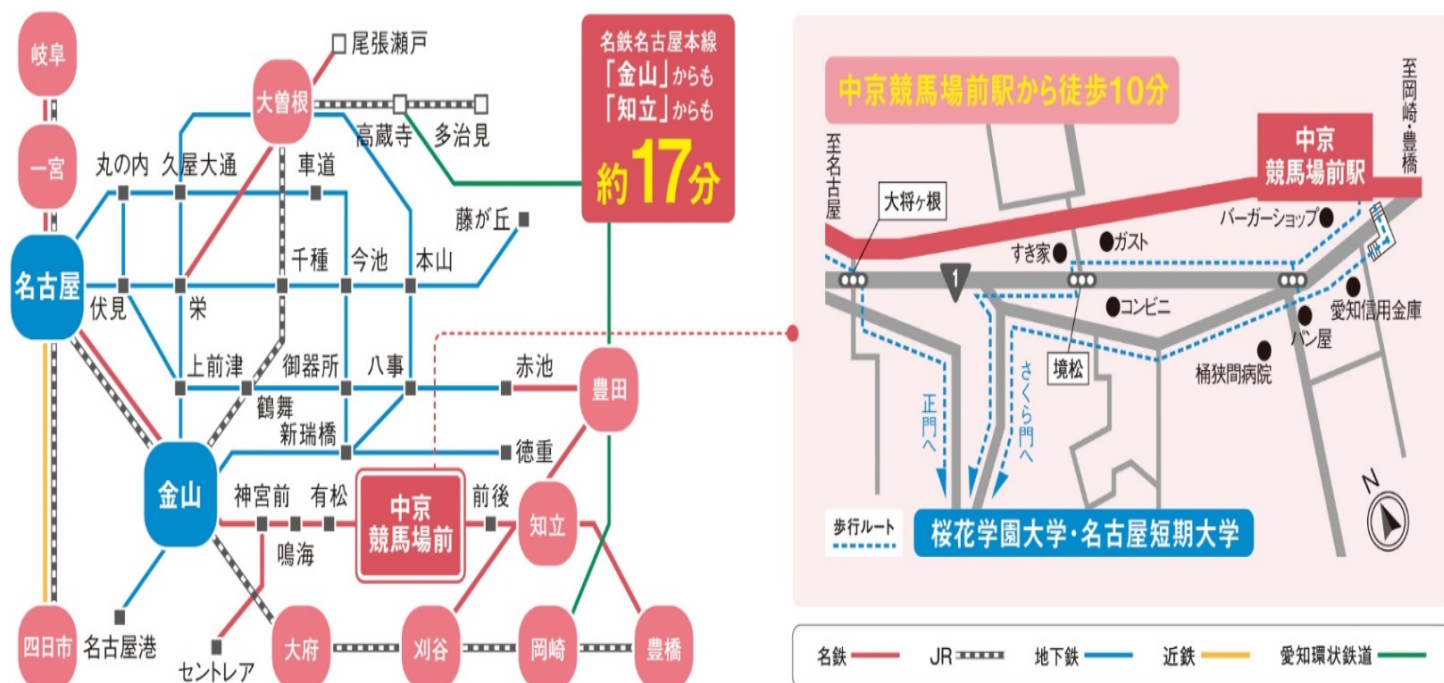
キャンパスは名古屋市に隣接する豊明市にあります。

学科構成は保育科・英語コミュニケーション学科・現代教養学科・専攻科（保育専攻・英語専攻）で、現在935名の学生が在籍し、保育系学生は60%を占めています。

課外活動は学生会を中心に活発で、学生の73%が加入。サークルをはじめ大学祭等、学内行事の多くを同一法人の桜花学園大学と合同で行っています。

緑豊かなキャンパスにはタヌキが生息し、周辺には「桶狭間の合戦」の名所旧跡があります。

ACCESS



名古屋短期大学（担当：学務部学生課長 衛藤公彦 氏）

住 所 愛知県豊明市栄町武待48番地

電 話 0562-97-1306

交 通 「名古屋」から約21分、「金山」から約17分、
三河方面の「知立」から約17分。
最寄り駅の「中京競馬場駅前」から通用門までは徒歩約10分。

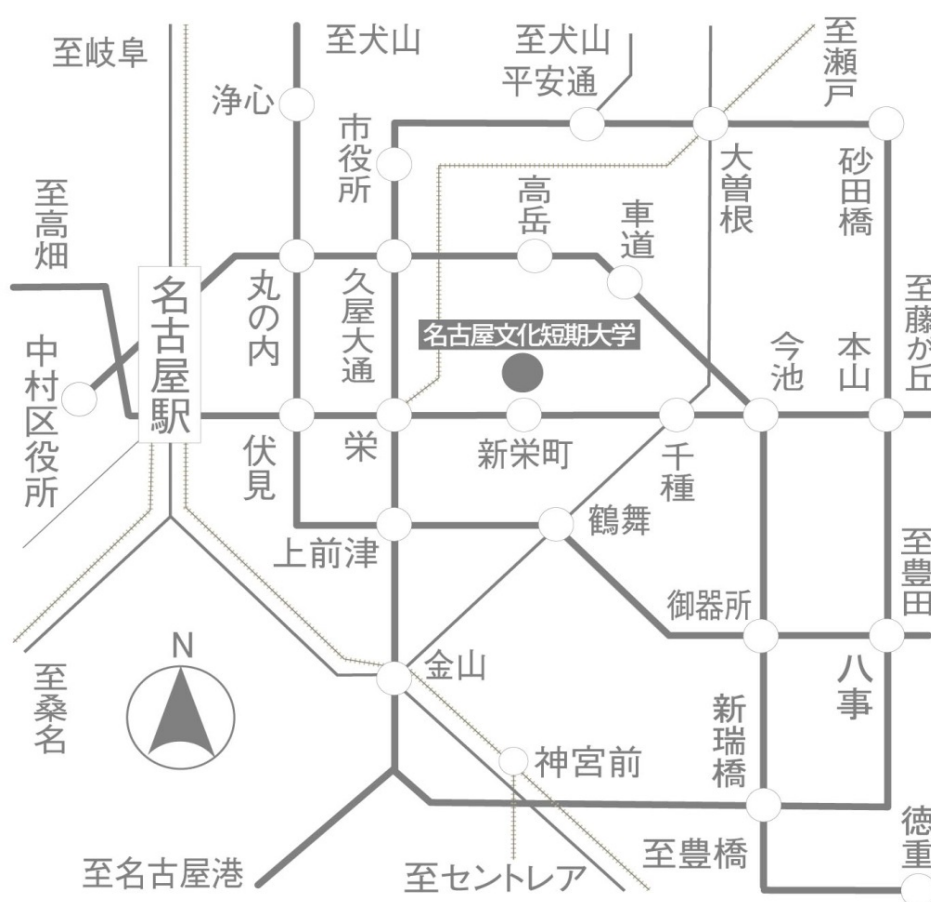
集合場所 研究管理棟3F 大会議室

■名古屋文化短期大学

本学は、昭和8年山田和服裁縫所として創設され、現在3専攻12コース、専攻科2コースを設置しています。

学生には世界に羽ばたくために、下記4つの未来エールを送っています。

- 1、「感性」 洗練されたデザイン学者で、日々「本物の美」にふれる。
- 2、「教養」 日本人として、社会人としての知性と人間力を高める。
- 3、「技術」 専門知識とスキルを習得して、確かな自信につなげる。
- 4、「国際性」 グローバルな視点を持ち、活躍の舞台を世界へ広げる。



名古屋文化短期大学（担当：教学部長 小野幸一 氏）

住 所 名古屋市東区葵一丁目17-8

電 話 052-931-7112

交 通 ●地下鉄東山線「新栄町」駅下車徒歩2分

●JR中央線「千種」駅下車徒歩10分

集合場所 本学インフォメーション前

研修会参加費納入及び参加申込み方法について

「参加費」の納入は銀行振込みにより、一般財団法人私学研修福祉会宛にご送金ください。
「申込書」は日本私立短期大学協会宛にEメールにてご送信願います。

1. 参加費の納入方法

- (1) 参加費は全日程で1人 34,200円です。下記にお振込みください。

銀行名・支店名： 三菱UFJ銀行 神田支店
口座の種類・口座番号： 普通 1225036
口座名： <small>いっばんざいだんほうじん しがくけんしゅうふくしかい (たんだいくち)</small> 一般財団法人 私学研修福祉会 (短大口)

- (2) 前記の銀行口座にお振込みの際、必ず「依頼人」欄には、短期大学名を明記してください。
- (3) 参加者が2名以上の場合は、一括してお振込みください。
- (4) 日本私立短期大学協会からの領収書は発行いたしません。
- (5) 一度納入された参加費は原則として返金いたしません。振込後に欠席される場合には、研修会終了後、当日配付資料の発送をもって代えさせていただきます。

2. 参加申込み方法

- (1) 本研修会の参加申込みは、電子媒体 (MS-Excel) およびEメールを用いてお申込みいただきます。詳細は後述の「参加申込み手順について」をご参照ください。
なお、申込書の入力方法、送信方法に諸注意がありますので、必ずご確認をお願いいたします。

本協会ウェブサイトURL <http://www.tandai.or.jp/kyokai/>

- (2) 申込書には、参加費納入確認を円滑に行うため振込み元の「金融機関名・支店名」、「参加費振込日」を入力する欄があります。学内の事務手続きの関係で振込みが遅れる場合は、その旨を「2) その他、連絡事項」欄に記し、「参加費振込日」には振込予定日を入力して、締切り期日までに参加申込書の送信をお願いいたします。
- (3) 参加申込書および参加費振込の締切り期日は、平成30年10月1日(月)です。厳守願います。また、申込みが締切り期日より遅れる場合は、事前に事務局までご連絡ください。

本研修会に関する問合せ先： 日本私立短期大学協会 事業課
担当：江澤 E-mail: gakusei@tandai.or.jp
電話 03-3261-9055 FAX 03-3263-6950

参加申込み手順について

研修会の参加申込みにつきましては、下記手順に従い、お申込みいただきますよう、よろしく
お願いいたします。

記

参加申込み手順

所定の申込書ファイルをダウンロードし、必要事項を入力のうえEメールに添付してお送りください。
なお、申込み期限は平成30年10月1日(月)です。

1. 申込書データファイルのダウンロード

<http://www.tandai.or.jp/kyokai/>

1. 申込書データファイルのダウンロード

(1) 日本私立短期大学協会のWebサイトの下記URLにアクセスする。

<http://www.tandai.or.jp/kyokai/>

(2) 申込書データのダウンロードページを開く

【学生生活委員会】ページの【平成30年度私立短期大学学生生活指導担当者研修会開催について(お知らせ)】ページにアクセスすると、研修会の案内及び申込書のダウンロードページが表示されます。

(3) 申込書データをダウンロードする

申込書は、Excel形式のデータファイルとなります。
※Internet Explorerの場合、リンク先を右クリックし、「対象をファイルに保存」を選択し、ご自身のパソコンの任意のフォルダへ保存してください。

2. 申込書データファイルへの入力

2. 申込書データファイルへの入力

(1) シート構成

申込書データファイルは以下の3シートで構成されています。なお、ブック及び各シートは「保護」を設定していますので、項目や書式の変更はできません。

① 「はじめに(必読)」シート

このシートの内容を確認のうえ、データ入力してください。

② 「申込書」シート

このシートに必要な事項をすべて入力してください。

③ 「事務局用(入力不要)」シート

このシートはデータ回収後に事務局が使用するためのものなので、入力不要です。(削除しないでください)

※自作ファイル、もしくは流用作成したファイルでのお申込みは一切お断りいたします。

(2) 複数人お申込みの場合

お二人以上でお申込みの場合は、1名につき1ファイルで申込書データファイルを作成してください。

3. 申込書データファイルの送信
gakusei@tandai.or.jp

3. 申込書データファイルの送信

(1) 申込書データのファイル名を変更する

ファイル名は元のファイル名（gsken30）の後に、短大名を付加してください。なお、複数名申込みの場合のみ短大名の後に数字を付加してください。

例) アルカディア短期大学で2名申込みの場合
→ gsken30アルカディア1.xlsx
gsken30アルカディア2.xlsx

(2) 申込書データファイルを送信する

入力内容を最終確認後、申込書データファイルをEメールに添付して、学内担当者から協会事務局へ送信してください。

送信先 : gakusei@tandai.or.jp

(3) メールの件名

「〇〇短期大学 学生生活研修会申込み」としてください。

(4) 「開封通知機能」の付加

メール送信の際は「開封通知機能」を付加してください。折り返し送信された開封通知をもって、受信確認のお知らせとさせていただきます。「開封通知機能」が付加できない場合は、メール本文にその旨を記載してください。

(5) バックアップデータの保存

送信事故防止のため、申込者の責任でデータを保管してください。

4. 確認メールの受信（申込み完了）

4. 確認メールの受信（申込み完了）

協会事務局からの開封通知の受信をもってお申込手続きが完了となります。

申込みメールを送信後、数日経過しても確認メール（開封通知）が届かない場合は、申込みメールが届いていない場合がありますので、お手数ですが必ず協会事務局まで電話にてお問い合わせください。

【お問い合わせ】

ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

日本私立短期大学協会〔電話 03-3261-9055 FAX 03-3263-6950〕

問い合わせ用 E-mailアドレス : gakusei@tandai.or.jp

担当：事業課 江澤

以 上

研修会場案内図

「名古屋ガーデンパレス」

〒460-0003 名古屋市中区錦3丁目11-13

電話 052-957-1022 (代表)

FAX 052-957-1727

アクセスマップ



〈電車の場合〉

名古屋駅から

- 地下鉄東山線 藤が丘方面 2つ目の「栄」駅下車、1番出口より徒歩 約5分